

令和 7 年度(本郷第 1 地区)農業集落排水管路施
設 災害復旧工事(震災関係)

令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)

数量計算書

土工

種 目・材 料	略 図	計 算 式	数 量	単位	
Coφ500マンホール（簡易マンホール）を今回撤去し、塩ビマンホールに新設する場合、掘削土量控除はCoφ500マンホールの控除を適用するが、埋戻し土量の控除は塩ビマンホールの外径を用いた控除が必要である。					
しかし数量計算書はCoφ500マンホールの外径で控除をしているため、現場にて土量が不足する恐れがあるため、Coφ500マンホールと塩ビマンホールの体積差分を追加で計上する必要がある。					
掘削タイプ5	マンホール個数 N=2個				
平均マンホール深					
既設小口径MH H=1.134m		$(0.320)^2 \times 1/4 \times \pi \times 1.134 \times 2 = 0.16$			
掘削タイプ6					
平均マンホール深					
既設小口径MH H=1.344m	マンホール個数 N=2個	$(0.320)^2 \times 1/4 \times \pi \times 1.344 \times 2 = 0.19$			
既設Coφ500マンホールの残塊処理・残戒重量に関して					
MH番号 マンホール深	マンホール個数 N=4個				
S1 H=1.176m					
S5 H=1.248m					
S47 H=1.019m					
S2 H=1.512m		φ500Coマンホール			
		躯体重量： 0.058 t / 0.4m = 0.145 t/m			
平均マンホール深 H=1.239m		$1.239 \times 0.145 \times 4 = 0.72$	0.72	ton	
		鉄筋Co単位堆積重量= 2.50 t/m ³			
		$0.72 \div 2.50 = 0.29$	0.29	m ³	

[illegible]

数量計算書				令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)			
種 目・材 料		略 図	計 算 式		数 量	単位	
(補 助)		管材延長	1 式当たり				
本管部							
既設塩ビ管撤去 (t)							
既設VU150	0.0039t/m		L=347.55m	0.0039×347.55	=	1.36	
既設卵形150	0.0038t/m		L=299.39m	0.0038×299.39	=	1.14	
既設VU100	0.0017t/m		L=2.1m	0.0017×2.10	影響継手	=	0.00
既設卵形150	0.0038t/m		L=4.7m	0.0038×4.70	影響継手	=	0.02
			計		2.52	2.52	t
既設塩ビ管撤去 (m ³)		管材延長					
既設VU150	0.0214m3/m		L=347.55m	0.0214×347.55	=	7.44	
既設卵形150	0.0170m3/m		L=299.39m	0.0170×299.39	=	5.09	
既設VU100	0.0102m3/m		L=2.1m	0.0102×2.10	=	0.02	
既設卵形150	0.0170m3/m		L=4.7m	0.0170×4.70	=	0.08	
			計		12.63	12.6	m3
既設ヒューム管撤去 (t)			管材延長				
		計		0.00	0.0	t	
既設ヒューム管撤去 (m ³)		管材延長					
			計		0.00	0.0	m3
清掃工			マンホール个数	高圧水洗浄 (水圧9.8MPa)			
平均マンホール深		(壁部)					
既設1号MH	H=2.136m	N=27個		$\{1.41+0.90 \times \pi \times (2.136-0.60-0.10)\} \times 27$			
		=		147.70			
既設楕円MH	H=1.188m	N=2個		$\{1.41+(0.60 \times \pi +0.60) \times (1.188-0.60-0.10)\} \times 2$			
		=		5.25			
既設小口径MH	H=1.224m	N=6個		$\{1.41+0.50 \times \pi \times (1.224-0.60-0.10)\} \times 6$			
		=		13.40			
		計		166.35	166.4	m ²	
底部径		マンホール个数		(床部)			
既設1号MH	Φ900		N=27個	$(0.90)^2 \times 1/4 \times \pi \times 27$		=	17.18
既設楕円MH	Φ600外		N=2個	$\{(0.60)^2 \times 1/4 \times \pi +0.3 \times 0.6\} \times 2$		=	0.93
既設小口径MH	φ500		N=6個	$(0.50)^2 \times 1/4 \times \pi \times 6$			
			小計①		18.11		
		管材延長	(床部)				
既設VU150	呼び径 150		L=347.55m	$0.15 \times \pi \times 347.55 \times 2$ (面)		=	327.56
既設卵形150	呼び径 150		L=299.39m	$0.15 \times \pi \times 299.39 \times 2$ (面)		=	282.17
既設VU100	呼び径 100		L=2.1m	$0.10 \times \pi \times 2.10 \times 2$ (面)		=	1.32
既設卵形150	呼び径 150		L=4.7m	$0.15 \times \pi \times 4.70 \times 2$ (面)		=	4.43
			小計②		615.48		
			小計①+②		633.59	633.6	m ²

数量計算書					令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)				
管材・マンホール									
種 目・材 料	略 図	計 算 式			数 量	単位			
(非補助)	<div> <div>管材延長</div> <div>L=109.10m</div> </div>	1 式当たり							
本管部									
既設塩ビ管撤去 (t)									
既設VU150 0.0039t/m		$0.0039 \times 109.10 = 0.43$							
既設卵形150 0.0038t/m		$0.0038 \times 6.40 = 0.02$							
		計 0.45			0.45	t			
既設塩ビ管撤去 (m ³)	<div> <div>管材延長</div> <div>L=109.10m</div> </div>								
既設VU150 0.0214m3/m		$0.0214 \times 109.10 = 2.33$							
既設卵形150 0.0170m3/m		$0.0170 \times 6.40 = 0.11$							
		計 2.44			2.4	m3			
既設ヒューム管撤去 (t)									
	<div> <div>管材延長</div> <div>L=109.10m</div> </div>								
		計 0.00			0.0	t			
既設ヒューム管撤去 (m ³)									
		計 0.00			0.0	m3			
清掃工	<div> <div>マンホール个数</div> <div>N=4個</div> </div>	高圧水洗浄 (水圧9.8MPa) (壁部)							
平均マンホール深									
既設1号MH H=1.444m		$\{1.41+0.90 \times \pi \times (1.444-0.60-0.10)\} \times 4$							
		$= 14.05$							
		計 14.05			14.1	m ²			
底部径	<div> <div>マンホール个数</div> <div>N=4個</div> </div>	(床部)							
既設1号MH Φ900		$(0.90)^2 \times 1/4 \times \pi \times 4$			$= 2.54$				
		小計① 2.54							
	<div> <div>管材延長</div> <div>L=109.1m</div> </div>	(床部)							
既設VU150 呼び径 150		$0.15 \times \pi \times 109.10 \times 2 \text{ (面)}$			$= 102.82$				
既設卵形150 呼び径 150		$0.15 \times \pi \times 6.40 \times 2 \text{ (面)}$			$= 6.03$				
	<div> <div>管材延長</div> <div>L=6.4m</div> </div>								
		小計② 108.85							
		小計①+② 111.39			111.4	m ²			

令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)

種 目・材 料	略 図	計 算 式	数 量	単位
(補 助)		1 式当たり		
取付管工				
VU支管	Φ150×100	取付管工内訳表より	8	個
VU支管	Φ200×100	取付管工内訳表より	—	個
VU支管	Φ250×100	取付管工内訳表より	—	個
塩ビ管継手	45° 曲管(Φ100)	取付管工内訳表より	8	個
塩ビ管継手	60° 曲管(Φ100)	取付管工内訳表より	—	個
塩ビ管継手	Φ100、カラー	取付管工内訳表より	8	個

	宅地番号	VU支管（個）			塩ビ管継手（個）			
		φ 150	φ 200	φ 250	45° 曲管	60° 曲管	カラー	
	T2	1			1		1	
	T8	1			1		1	
	T9	1			1		1	
	T14	1			1		1	
	S9	1			1		1	
新設区間	S21	1			1		1	
新設区間	S21-1	1			1		1	
新設区間	S23	1			1		1	
	合計	8	0	0	8	0	8	

塩ビマンホール撤去・新設		数 量 計 算 書		令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)		
種 目・材 料	略 図	計 算 式		数 量	単位	
(補 助)	マンホール個数 N=4個					
塩ビマンホール 2.0m以下		立ち上がり管 φ300	0.0137 t/m			
平均深さ H=1.239m			0.0794 m3/m			
既設塩ビMH撤去 (t)		$1.239 \times 0.0137 \times 4$	= 0.067897	0.1	t	
既設塩ビMH撤去 (m3)		$1.239 \times 0.0794 \times 4$	= 0.393506	0.4	m3	
塩ビマンホール 2.0m≦H≦3.5m		立ち上がり管 φ300	0.0137 t/m			
平均深さ			0.0794 m3/m			
既設塩ビMH撤去 (t)					t	
既設塩ビMH撤去 (m3)					m3	
清掃工		平均深さ×箇所数 L=4.96m	高圧水洗浄 (水圧9.8MPa) (床部)			
既設塩ビMH 呼び径 300	$0.30 \times \pi \times 4.96 \times 2(\text{面})$		= 9.35	9.3 m ²		
(補 助)						
※塩ビマンホールの形式は平面図にて判断をしている。						
塩ビマンホール新設規格内訳表						
	MH番号	H = 2.0m以下		2.0m<H≦3.5m		マンホール深
		起点・中間形式	底部会合式	起点・中間形式	底部会合式	
タイプ6	S1	1				1.176
タイプ6	S2		1			1.512
タイプ5	S5		1			1.248
タイプ5	S47	1				1.019
	合計 (箇所)	2	2			N=4箇所
平均H＝						1.239m

塩ビマンホール撤去・新設		数 量 計 算 書		令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)	
種 目・材 料	略 図	計 算 式		数 量	単位
(非補助)	マンホール個数 N=3個				
塩ビマンホール 2.0m以下		立ち上がり管φ300	0.0137 t/m		
平均深さ H=1.118m			0.0794 m3/m		
既設塩ビMH撤去 (t)		1.118 × 0.0137 × 3	= 0.04595	0.1	t
既設塩ビMH撤去 (m3)		1.118 × 0.0794 × 3	= 0.266308	0.3	m3
塩ビマンホール 2.0m≦H≦3.5m		立ち上がり管φ300	0.0137 t/m		
平均深さ H=2.080m			0.0794 m3/m		
既設塩ビMH撤去 (t)		2.08 × 0.0137 × 1	= 0.028496	0.0	t
既設塩ビMH撤去 (m3)		2.08 × 0.0794 × 1	= 0.165152	0.2	m3
清掃工		高圧水洗浄 (水圧9.8MPa)			
既設塩ビMH 呼び径 300	平均深さ×箇所数 L=5.43m	(床部)			
		0.30 × π × 5.43 × 2(面)	= 10.24	10.2	m ²
(非補助)					
※塩ビマンホールの形式は平面図にて判断をしている。					
塩ビマンホール新設規格内訳表					
	MH番号	H = 2.0m以下		2.0m<H≦3.5m	
		起点・中間形式	底部会合式	起点・中間形式	底部会合式
タイプ5	T30		1		
タイプ5	T31	1			
タイプ5	S58		1		
タイプ8	S59			1	
	合計 (箇所)	1	2	1	
平均H＝					1.358m

[illegible]

Coφ500マンホール撤去 塩ビφ300マンホール布替工		数量計算書		令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)	
種 目・材 料	略 図	計 算 式		数 量	単位
(非補助)	管種数 N=1箇所 N=1箇所 マンホール高 N=1個	マンホール NO. T30 (1)			
掘削タイプ5		既設Co厚 15 cm	復旧As厚 3 cm		
			復旧路盤厚 27 cm		
既設卵形150					
既設VU100					
マンホール高					
既設小口径MH H=1.196m		φ500Coマンホール			
	φ500MH控除				
舗装版切断 Co		2.00×4	= 8.00		m
Co舗装版取壊し		2.00×2.00	= 4.00		
		$-(0.50)^2 \times 1/4 \times \pi$	= -0.20		
		計	3.80		m ²
残塊処理 Co		0.00×0.15	= 0.60		m ³
残塊重量 Co		0.00×2.35	= 1.41		ton
掘削 028(020)BH		2.00×2.00×1.046	= 4.18		
		$-(0.580)^2 \times 1/4 \times \pi \times 1.046$	= -0.28		
		$-(0.017 \times 0.710 \times 1 + 0.0102 \times 0.710 \times 1)$			
	素 掘 φ500MH控除 管控除		= -0.02		
		計	3.88		m ³
残土処理 土砂		3.88-3.49	= 0.39		m ³
埋戻 028(020)BH		2.00×2.00×0.896	= 3.58		
改良土		$-(0.320)^2 \times 1/4 \times \pi \times 0.896$	= -0.07		
		$-(0.017 \times 0.840 \times 1 + 0.0102 \times 0.840 \times 1)$			
			= -0.02		
		計	3.49		m ³
既設硬質塩ビ管撤去		0.850×1	= 0.85		m
		0.850×1	= 0.85		m
	重量 体積				
既設硬質塩ビ管残塊処理		0.0038×0.850×1+0.0017×0.850×1			
			= 0.00		ton
		0.017×0.850×1+0.0102×0.850×1			
			= 0.02		m ³
既設Coφ500MH残塊処理		φ500Coマンホール			
マンホール高		躯体重量： 0.058 t / 0.4m= 0.145 t/m			
既設小口径MH H=1.196m		1.196×0.145	= 0.17		ton
		鉄筋Co単位堆積重量=	2.50 t/m ³		
	体積	0.17÷2.50	= 0.07		m ³

[illegible]

Coφ500マンホール撤去 塩ビφ300マンホール布替工		数量計算書		令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)	
種 目・材 料	略 図	計 算 式		数 量	単位
(非補助)	管種数 N=1箇所 N=1箇所 マンホール高 N=1個	マンホール NO. T31 (1)			
掘削タイプ5		既設Co厚 15 cm	復旧As厚 3 cm		
			復旧路盤厚 27 cm		
既設卵形150					
既設VU100					
マンホール高					
既設小口径MH H=1.176m		φ500Coマンホール			
	φ500MH控除				
舗装版切断 Co		2.00×4	= 8.00		m
Co舗装版取壊し		2.00×2.00	= 4.00		
		$-(0.50)^2 \times 1/4 \times \pi$	= -0.20		
		計	3.80		m ²
残塊処理 Co		0.00×0.15	= 0.60		m ³
残塊重量 Co		0.00×2.35	= 1.41		ton
掘削 028(020)BH		2.00×2.00×1.026	= 4.10		
		$-(0.580)^2 \times 1/4 \times \pi \times 1.026$	= -0.27		
		$-(0.017 \times 0.710 \times 1 + 0.0102 \times 0.710 \times 1)$			
	素 掘 φ500MH控除 管控除		= -0.02		
		計	3.81		m ³
残土処理 土砂		3.81-3.41	= 0.40		m ³
埋戻 028(020)BH		2.00×2.00×0.876	= 3.50		
改良土		$-(0.320)^2 \times 1/4 \times \pi \times 0.876$	= -0.07		
		$-(0.017 \times 0.840 \times 1 + 0.0102 \times 0.840 \times 1)$			
			= -0.02		
		計	3.41		m ³
既設硬質塩ビ管撤去		既設卵形150	0.850×1	= 0.85	m
		既設VU100	0.850×1	= 0.85	m
	重量 体積				
既設硬質塩ビ管残塊処理		0.0038×0.850×1+0.0017×0.850×1			
			= 0.00		ton
		0.017×0.850×1+0.0102×0.850×1			
			= 0.02		m ³
既設Coφ500MH残塊処理		φ500Coマンホール			
マンホール高		0.058 t / 0.4m	躯体重量： 0.058 t / 0.4m= 0.145 t/m		
既設小口径MH H=1.176m		重量	1.176×0.145	= 0.17	ton
		体積	鉄筋Co単位堆積重量=	2.50 t/m ³	
			0.17÷2.50	= 0.07	m ³

Co φ 500マンホール撤去 塩ビ φ 300マンホール布替工		数 量 計 算 書		令和 7 年度(本郷第 1 地区) 農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)	
種 目・材 料	略 図	計 算 式	数 量	単位	
(非補助)	マンホール个数 N=1個 底部径 既設小口径MH φ 500 管材延長 既設卵形150 呼び径 150 既設VU100 呼び径 100 小口径マンホール設置工 H≦2.00 影響継手工 EPG150 小口径 影響継手工 VU100 小口径 舗装工	マンホール NO. T31 (2)			
清掃工		高圧水洗浄 (水圧9.8MPa) (壁部)			
既設小口径MH H=1.176m		$0.50 \times \pi \times 1.176 \times 1$			
		= 1.85		m ²	
底部径		(床部)			
既設小口径MH φ 500		$(0.50)^2 \times 1/4 \times \pi \times 1$	= 0.20		
		(床部)			
既設卵形150 呼び径 150		$0.15 \times \pi \times 0.85 \times 2$ (面)	= 0.80		
既設VU100 呼び径 100		$0.10 \times \pi \times 0.85 \times 2$ (面)	= 0.53		
		計 3.38		m ²	
			</		

Coφ500マンホール撤去 塩ビφ300マンホール布替工		数量計算書		令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)	
種 目・材 料	略 図	計 算 式		数 量	単位
(非補助)	管種数 N=2箇所	マンホール NO. S58 (1)			
掘削タイプ5		既設Co厚 15 cm	復旧As厚 3 cm		
			復旧路盤厚 27 cm		
既設卵形150					
マンホール高					
既設小口径MH H=0.981m		φ500Coマンホール			
	マンホール个数 N=1個				
舗装版切断 Co		2.00×4	= 8.00		m
Co舗装版取壊し		2.00×2.00	= 4.00		
		$-(0.50)^2 \times 1/4 \times \pi$	= -0.20		
		計	3.80		m ²
残塊処理 Co		0.00×0.15	= 0.60		m ³
残塊重量 Co		0.00×2.35	= 1.41		ton
掘削 028(020)BH		2.00×2.00×0.831	= 3.32		
		$-(0.580)^2 \times 1/4 \times \pi \times 0.831$	= -0.22		
		$-(0.017 \times 0.710 \times 2)$			
	素 掘 φ500MH控除 管控除		= -0.02		
		計	3.08		m ³
残土処理 土砂		3.08-2.64	= 0.44		m ³
埋戻 028(020)BH		2.00×2.00×0.681	= 2.72		
改良土		$-(0.320)^2 \times 1/4 \times \pi \times 0.681$	= -0.05		
		$-(0.017 \times 0.840 \times 2)$			
			= -0.03		
		計	2.64		m ³
既設硬質塩ビ管撤去		0.850×2	= 1.70		m
	重量 体積				
既設硬質塩ビ管残塊処理		0.0038×0.850×2			
			= 0.01		ton
		0.017×0.850×2			
			= 0.03		m ³
既設Coφ500MH残塊処理		φ500Coマンホール			
マンホール高		0.058 t / 0.4m	躯体重量： 0.058 t / 0.4m= 0.145 t/m		
既設小口径MH H=0.981m		重量	0.981×0.145 = 0.14		ton
		鉄筋Co単位堆積重量=	2.50 t/m ³		
	体積	0.14÷2.50	= 0.06		m ³

Co φ 500マンホール撤去 塩ビ φ 300マンホール布替工		数量計算書		令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)	
種 目・材 料	略 図	計 算 式		数 量	単位
(非補助)	マンホール個数 N=1個 N=1個 管材延長 L=1.70m	マンホール NO. S58 (2)			
清掃工		高圧水洗浄 (水圧9.8MPa)			
		(壁部)			
既設小口径MH H=0.981m		0.50×π×0.981×1			
		= 1.54			m ²
底部径		(床部)			
既設小口径MH φ 500		(0.50) ² ×1/4×π×1		= 0.20	
		(床部)			
既設卵形150 呼び径 150		0.15×π×1.70×2(面)		= 1.60	
		計 3.34			m ²
小口径マンホール設置工 H≦2.00				1	箇所
影響継手工 EGP150 小口径				2	箇所

Co φ 500マンホール撤去 塩ビ φ 300マンホール布替工		数 量 計 算 書		令和 7 年度(本郷第 1 地区) 農業集落排水管路施 設 災害復旧工事(震災関係)		
種 目・材 料	略 図	計 算 式		数 量	単位	
(非補助)	管種数 N=2箇所	マンホール NO. S59 (1)				
掘削タイプ8		既設Co厚 15 cm	復旧As厚 3 cm			
		復旧路盤厚 27 cm				
既設卵形150						
マンホール高		マンホール個数				
既設小口径MH H=2.080m	N=1個	φ 500Coマンホール				
	φ 500MH控除					
舗装版切断 Co		2.00×4	= 8.00		m	
Co舗装版取壊し		2.00×2.00	= 4.00			
		$-((0.50)^2 \times 1/4 \times \pi)$	= -0.20			
			計 3.80		m ²	
残塊処理 Co		0.00×0.15	= 0.60		m3	
残塊重量 Co		0.00×2.35	= 1.41		ton	
掘削 028(020)BH		建込土留 C	2.00×2.00×1.930	= 7.72		
		φ 500MH控除	$-((0.580)^2 \times 1/4 \times \pi \times 1.930)$	= -0.51		
		管控除	$-(0.017 \times 0.710 \times 2)$			
	建込土留 C φ 300MH控除 管控除		= -0.02			
			計 7.19		m3	
残土処理 土砂		7.19-6.95	= 0.24		m3	
埋戻 028(020)BH		建込土留 C	2.00×2.00×1.780	= 7.12		
改良土		φ 300MH控除	$-((0.320)^2 \times 1/4 \times \pi \times 1.780)$	= -0.14		
		管控除	$-(0.017 \times 0.840 \times 2)$			
			= -0.03			
			計 6.95		m3	
既設硬質塩ビ管撤去		既設卵形150	0.850×2	= 1.70		m
		重量 体積				
既設硬質塩ビ管残塊処理	0.0038×0.850×2					
			= 0.01		ton	
	0.017×0.710×2					
			= 0.02		m3	
既設Co φ 500MH残塊処理	φ 500Coマンホール					
マンホール高	0.058 t / 0.4m		躯体重量： 0.058 t / 0.4m=	0.145 t/m		
既設小口径MH H=2.080m	重量	2.080×0.145	= 0.30		ton	
	体積	鉄筋Co単位堆積重量=		2.50 t/m ³		
		0.30÷2.50	= 0.12		m3	

[illegible]

数量計算書					令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)				
既設マンホール撤去									
種 目・材 料	略 図	計 算 式			数 量	単位			
	管種数 N=1箇所	マンホール No. S65 (1)							
掘削タイプ		既設As厚 cm 復旧砂利厚 10 cm							
		復旧路盤厚 cm							
既設卵形150									
MH深									
既設楕円MH H=1.296m	マンホール個数 N=1個	MH高 1.796 m(インバート0.17+底版0.13+基礎0.20)							
	MH控除								
舗装版切断 As		=				m			
As舗装版取壊し		=							
		=							
		計 0.0			0.0	m ²			
残塊処理 As		0×0 =				m ³			
残塊重量 As		×2.30 =				ton			
掘削 028(020)BH たて込み簡易土留C		2.50×2.50×1.796 = 11.2							
		-((1.050) ² ×1/4×π×1.796) = -1.6							
		-(0.017×0.725×1)							
	MH控除 管控除	= 0.0							
		計 9.7			9.7	m ³			
埋戻 028(020)BH たて込み簡易土留C		2.50×2.50×1.696 = 10.6							
在来土		※既設MHは撤去するため控除しない							
		-(0.017×2.50×1)							
		= 0.0							
		計 10.6			10.6	m ³			
既設硬質塩ビ管撤去	既設卵形150	0.80×1 = 0.8			0.8	m			
	重量 体積								
既設硬質塩ビ管残塊処理		0.0038×0.80×1							
		= 0.00			0.00	ton			
		0.017×0.80×1							
		= 0.01			0.0	m ³			
既設特1号MH撤去工					1.0	箇所			

数量計算書					令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)				
既設マンホール撤去									
種 目・材 料	略 図	計 算 式			数 量	単位			
	マンホール個数	マンホール No. S65 (2)							
清掃工		高圧水洗浄 (水圧9.8MPa)							
		(壁部)							
既設楕円MH H=1.296m		$\{1.41+(0.60 \times \pi +0.60) \times (1.41-0.60-0.10)\} \times 1$							
		= 2.89			2.9	㎡			
底部径		(床部)							
既設楕円MH Φ600外		$\{(0.60)^2 \times 1/4 \times \pi +0.3 \times 0.6\} \times 1 = 0.46$							
		(床部)							
既設卵形150 呼び径 150		L=0.8m $0.15 \times \pi \times 0.8 \times 2(\text{面}) = 0.75$							
		計 1.22			1.2	㎡			
S65MH残塊処理									
		高さ(mm) 重量(kg)							
調整リング		100 内径600×高さ100 59							
斜壁		300 上径600×下径900×高さ300 220							
躯体		900 内寸600×900×高さ900 426							
底版		130 外寸800×1100×高さ130 268							
重量	H≦3.5	973			0.97	t			
体積		$0.97 \div 2.50 = 0.39$			0.4	m3			
既設管路接続工		既設管撤去分の延長+MHの内径+新設VU150							
VU150		$0.80+0.90+0.80 = 2.50$			2.50	m			
円卵変換カラー φ 150		※既設S64～既設S65までの区間のみ卵形管であるため			1.0	個			
埋設表示テープ					2.50	m			
たて込み簡易土留C		$(2.50+2.50) \times 1.796 \times 2 = 17.96$			18.0	㎡			
たて込み簡易土留C		$2.50+2.50 = 5.00$			5.0	m			
舗装工		$2.50 \times 2.50 = 6.3$							
	MH控除	※既設MHは撤去するため控除しない							
		計 6.3			6.3	㎡			

数量計算書			令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)				
エアミルク充填工							
種 目・材 料		略 図	計 算 式		数 量	単位	
		MH深					
対象MH番号	MHタイプ						
S66	楕円MH	H=2.265m					
S67	楕円MH	H=2.582m					
S23	楕円MH	H=3.611m					
平均MH深		H=2.819m					
		箇所数 N=3個					
既設特1号MH上部撤去			上部1.5mまでを撤去する		3.0	箇所	
掘削 028(020)BH 素掘り			既設特1号MHの地盤面から1.50mの深さで切断する。				
			2.50×2.50×1.50×3 = 28.13				
			1.05×0.75×1.50×3 = 3.54				
			計 24.58		24.6	m3	
清掃工		マンホール個数 N=3個	高圧水洗浄 (水圧9.8MPa)				
			(壁部)				
平均MH深							
既設特1号MH	H=2.819m		{1.41+(0.6×π+0.30×2)×(2.819-0.60-0.10)}×3				
(楕円MHで考える)			= 20.03				
			計 20.03		20.0	m ²	
底部径		マンホール個数 N=3個	(床部)				
既設特1号MH	φ600外		{(0.60) ² ×π÷4+0.30×0.60}×3 = 1.39				
(楕円MHで考える)							
			小計① 1.39				
			(床部)				
			呼び径×π×(区間延長-MH分控除)				
撤去S65～S66	呼び径 150		L=31.10m	0.15×π×30.20×1(面) = 14.23			
S66～S67	呼び径 150		L=12.20m	0.15×π×11.30×1(面) = 5.32			
S67～S23	呼び径 150	L=18.1m	0.15×π×17.20×1(面) = 8.11				
S22～S23	呼び径 200	L=37.7m	0.20×π×36.80×1(面) = 23.12				
S63～S67	呼び径 150	L=2.50m	0.15×π×1.60×1(面) = 0.75				
S63～S64	呼び径 150	L=6.20m	0.15×π×5.80×1(面) = 2.50				
		区間延長	小計② 54.04				
			小計①+② 55.42		55.4	m ²	
既設特1号MH上部廃材処分			高さ(mm)		重量(kg)		
重量	調整リング		100	内径600×高さ100 ① 59			
	斜壁		600	上径600×下径900×高さ600 ② 419			
	楕円直壁		300	内寸600×900×高さ300 145			
			600	内寸600×900×高さ600 285			
			900	内寸600×900×高さ900 426			
		高さ(mm)	100mmあたり 47.6				
比例配分 楕円直壁			800	内寸600×900×高さ800 ③ 381			
総重量			3箇所	①+②+③×3箇所 2,577		2.58	t
体積			2.58÷2.50 = 1.03		1.0	m3	

数量計算書				
エアミルク充填工		令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)		
種 目・材 料	略 図	計 算 式	数 量	単位
エアミルク充填量		既設特1号MHの直壁の形状を楕円と考えると 楕円MHの床部面積は $(0.60)^2 \times \pi \div 4 + 0.30 \times 0.60$ = 0.463		
MH充填量 平均	MH深 H=2.819m	(平均MH深-上部切断分)×床部面積 $(2.819-1.50) \times 0.463 \times 3 = \text{①} 1.832$		
既設管充填量				
区間 管径	区間延長	管断面積×(区間延長-MH分控除)		
撤去S65～S66 卵形管 φ150	L=39.00m	$0.0257 \times (39.00-0.90) = 0.979$		
S66～S67 卵形管 φ150	L=12.00m	$0.0257 \times (12.00-0.90) = 0.285$		
S67～S23 卵形管 φ150	L=18.20m	$0.0257 \times (18.20-0.90) = 0.445$		
S22～S23 ヒューム管 φ200	L=37.60m	$0.0507 \times (37.60-0.90) = 1.861$		
S63～S67 卵形管 φ150	L=2.50m	$0.0257 \times (2.50-0.90) = 0.041$		
S63～S64 塩ビ管 φ150	L=6.20m	$0.0214 \times (6.20-0.45) = 0.123$		
		計② 3.734		
		①+② 5.566	5.57	m ³
注入装置据付・撤去工		1. S22～既設S23までの管路 2. 既設S65～既設S66までの管路 3. 既設S66MH～既設S67までのの管路 4. 既設S67～既設S23までの管路 5. 既設S23MH内 6. 既設S63～既設S64までの管路	6.0	箇所
埋戻 028(020)BH 素掘り		掘削土量-砂利舗装量		
S66 在来土		$24.58 \div 3 - 2.50 \times 2.50 \times 0.10 = 7.57 \text{ ①}$		
		掘削土量-砂利舗装量		
S67 改良土		$24.58 \div 3 - 2.50 \times 2.50 \times 0.10 = 7.57$		
	VU150控除	$0.165 \times 2.50 = 0.41$		
		計 7.16 ②		
		掘削土量-砂利舗装量		
S23 在来土		$24.58 \div 3 - 2.50 \times 2.50 \times 0.10 = 7.57 \text{ ③}$		
		①+③ 15.14	15.1	m ³
在来土 改良土		② 7.16	7.2	m ³
舗装工 RC-40 t=100mm		$2.50 \times 2.50 \times 3 = 18.75$	18.8	m ²

令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)

種 目・材 料

計 算 式

單位

[illegible]

令和 7 年度(本郷第 1 地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)

種 目・材 料

計 算 式

單位

[illegible]

(集計表)		数 量 計 算 書			令和 7 年度(本郷第 1 地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)				
種 目・材 料		略 図		計 算 式		数 量		単位	
(補 助)									
① 影響継手工 VU150				既存管延長= 0.800m 全 体		—		箇所	
				内孤立MH部				箇所	
				影響継手部の既設管撤去延長		—		m	
② 影響継手工 EGP150				既存管延長= 0.800m 全 体		4		箇所	
				内孤立MH部				箇所	
				影響継手部の既設管撤去延長		3.20		m	
③ 影響継手工 VU150 小口径				既存管延長= 0.750m 全 体		0.00		箇所	
				内孤立MH部				箇所	
				影響継手部の既設管撤去延長		0.00		m	
④ 影響継手工 EPG150 小口径				既存管延長= 0.750m 全 体		2		箇所	
				内孤立MH部				箇所	
				影響継手部の既設管撤去延長		1.50		m	
⑤ 影響継手工 VU100				既存管延長= 0.800m 全 体		1		箇所	
				内孤立MH部				箇所	
				影響継手部の既設管撤去延長		0.80		m	
⑥ 影響継手工 VU100 小口径				既存管延長= 0.750m 全 体		2		箇所	
				内孤立MH部				箇所	
				影響継手部の既設管撤去延長		1.50		m	
影響継手工内訳表									
	MH番号	①	②	③	④	⑤	⑥	備考	
		VU150	EPG150	VU150(小)	EPG150(小)	VU100	VU100(小)		
		0.80m	0.80m	0.75m	0.75m	0.80m	0.75m		
	S1						2		
	S2				1				
	S5				1				
	S12		2						
	S18		1						
	S21		1						
	S47					1			
	合計	0	4	0	2	1	2		

(集計表)		数 量 計 算 書			令和 7 年度(本郷第 1 地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)				
影響継手工									
種 目・材 料		略 図	計 算 式				数 量	単位	
(非 補 助)									
① 影響継手工 VU150			既存管延長= 0.800m		全 体		—	箇所	
			内孤立MH部					箇所	
			影響継手部の既設管撤去延長				—	m	
② 影響継手工 EGP150			既存管延長= 0.800m		全 体		—	箇所	
			内孤立MH部					箇所	
			影響継手部の既設管撤去延長				—	m	
③ 影響継手工 VU150 小口径			既存管延長= 0.750m		全 体		—	箇所	
			内孤立MH部					箇所	
			影響継手部の既設管撤去延長				—	m	
④ 影響継手工 EPG150 小口径			既存管延長= 0.750m		全 体		6	箇所	
			内孤立MH部				6	箇所	
			影響継手部の既設管撤去延長				0.00	m	
⑤ 影響継手工 VU100			既存管延長= 0.800m		全 体		—	箇所	
			内孤立MH部					箇所	
			影響継手部の既設管撤去延長				—	m	
⑥ 影響継手工 VU100 小口径			既存管延長= 0.750m		全 体		2	箇所	
			内孤立MH部				2	箇所	
			影響継手部の既設管撤去延長				0.00	m	
影響継手工内訳表									
	MH番号	①	②	③	④	⑤	⑥	備考	
		VU150	EPG150	VU150(小)	EPG150(小)	VU100	VU100(小)		
		0.80m	0.80m	0.75m	0.75m	0.80m	0.75m		
タイプ5	T30				1		1	孤立MH	
タイプ5	T31				1		1	孤立MH	
タイプ5	S58				2			孤立MH	
タイプ8	S59				2			孤立MH	
	合計	0	0	0	6	0	2		

数量計算書					令和7年度(本郷第1地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)
影響継手工					
種 目・材 料	略 図	計 算 式		数 量	単位
影響継手工 VU150		1箇所当り			
マンホール用可とう継手	φ150			1	個
硬質塩ビ管	VU φ 150	$(2.50-0.90) \div 2$	= 0.80	0.80	m
カラー	φ 150			1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分		0.80	m
影響継手工 EGP150		1箇所当り			
マンホール用可とう継手	φ 150			1	個
硬質塩ビ管	VU φ 150	$(2.50-0.90) \div 2$	= 0.80	0.80	m
円卵変換カラー	150			1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分		0.80	m
削孔	VU φ 150			1	箇所
影響継手工 VU150 小口径		1箇所当り			
硬質塩ビ管	VU φ 150	$(2.00-0.30) \div 2$	= 0.85	0.85	m
カラー	φ 150			1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分		0.85	m
影響継手工 EPG150 小口径		1箇所当り			
硬質塩ビ管	VU φ 150	$(2.00-0.30) \div 2$	= 0.85	0.85	m
円卵変換カラー	150			1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分		0.85	m
影響継手工 VU100		1箇所当り			
マンホール用可とう継手	φ 100			1	個
硬質塩ビ管	VU φ 100	$(2.50-0.90) \div 2$	= 0.80	0.80	m
カラー	φ 100			1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分		0.80	m
影響継手工 VU100 小口径		1箇所当り			
				1	個
硬質塩ビ管	VU φ 100	$(2.00-0.30) \div 2$	= 0.85	0.85	m
カラー	φ 100			1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分		0.85	m

数 量 計 算 書			令和 7 年度(本郷第 1 地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)	
影響継手工				
種 目・材 料	略 図	計 算 式	数 量	単位
(補 助)	φ 150 VU φ 150 150 150mm 2倍 VU φ 150			
影響継手工 EGP150		1箇所当り		
マンホール用可とう継手			1	個
硬質塩ビ管			0.80	m
円卵変換カラー			1	個
埋設物標示テープ			0.80	m
削孔			1	箇所
影響継手工 EGP200	φ 200 VU φ 200 200 150mm 2倍 VU φ 200	1箇所当り		
マンホール用可とう継手			1	個
硬質塩ビ管			0.80	m
円卵変換カラー			1	個
埋設物標示テープ			0.80	m
削孔			1	箇所
影響継手工 EGP250	φ 250 VU φ 250 250 150mm 2倍 VU φ 250	1箇所当り		
マンホール用可とう継手			1	個
硬質塩ビ管			0.80	m
円卵変換カラー			1	個
埋設物標示テープ			0.80	m
削孔			1	箇所